

シリーズ「放課後子ども教室推進事業」 (初中教育ニュース (初等中等教育局メールマガジン掲載))

【第6回】

遊び場クラブ(放課後子ども教室)

群馬県吉井町立岩平小学校長 宮下 秀幸

岩平小遊び場クラブは、「児童に安全な遊び場を確保し、健全な遊びを与えて、余暇の時間を有意義に過ごせるようにする」ことが目的です。

本校区は周囲を山に囲まれ、通学範囲も広く、路線バスを利用する児童も少なくありません。また、校門前の道路は朝夕通勤、通学等の車で交通量がとても多い地域です。このようなことを背景に「子どもたちを安心して友達や兄弟姉妹と遊ばせたい」という強い願いにより、岩平小PTA役員を中心に平成19年5月に保護者及びボランティア16名、児童59名で「岩平小遊び場クラブ」が誕生しました。毎週月曜日と金曜日の放課後、校庭を中心に竹とんぼ飛ばしやサッカーなどをしたり、雨の日は体育館でのお手玉作りや図書室での読書などをしたりと、季節や天候により様々な活動を行っています。

発足当初は、校庭東でシートを敷いて活動していましたが、町教育委員会生涯学習課の配慮により事務所としてプレハブを設置していただきました。本年度は、ボランティア29名、児童70名でスタートし、子どもたちのよい活動の場となっています。

遊び場クラブが始まって良かった点は、以下の通りです。

- 1 保護者や地域のボランティアの方々が自分の特技を子どもたちに教えるなどして、地域の大人に対する子どもの見方が変わり、絆がより深まってきたこと。
- 2 保護者、地域のボランティアの方々相互の連携・協力が深まってきたこと。
- 3 異学年交流により子どもたちの「思いやり、優しさ」等の気持ちが高まってきたこと。
- 4 高齢者ボランティアの方々が、子どもたちとの交流を通して生きがいを見出していること。

以上の通りですが、これまで、友だちの家が遠く、帰宅後室内で過ごすことが多かった子どもたちが、大人が見守っている校庭で、安心して活動し、豊かな社会性や情緒が育まれている姿は、家庭・地域・学校の新しい連携の形と思います。

(初中教育ニュース (初等中等教育局メールマガジン) 第96号に掲載)